

【令和6年度】第1回学校運営協議会実施報告

令和6年度第1回学校運営協議会を次のように開催いたしましたので報告いたします。

○日時：令和6年6月19日（水）

○場所：横浜南陵高等学校会議室

○参加：学校運営協議会委員（8名）、事務局他（3名）

○内容

1 校長より

あいさつ

令和6年度学校運営協議会委員の委嘱及び部会構成について

2 令和6年度学校運営協議会委員自己紹介

3 授業見学

4 報告

令和5年度学校評価報告書（実施結果）

令和6年度～9年度 学校教育計画

令和6年度～9年度 スクールポリシー

令和6年度～9年度 グランドデザイン

令和6年度学校評価報告書（目標設定）

5 質疑応答

<議事録>

神奈川県立横浜南陵高等学校における学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を次の通り開催した。

審議会等名称	神奈川県立横浜南陵高等学校 令和6年度第1回学校運営協議会
開催日時	令和6年6月19日(水) 14:00~15:30
開催場所	神奈川県立横浜南陵高等学校 会議室
出席者	【委員】 田代 孝之(日野連合町内会会長) 瀬古 恵美(横浜リハビリテーション専門学校教務グループリーダー) 小森 勤(横浜市港南区福祉保健センター子ども家庭支援課学校連携・子ども担当課長) 菊本 純(横浜市立日野中央高等特別支援学校校長) 狩谷 浩史(横浜市日野小学校校長) 松本 麻理子(横浜市立日野南中学校校長) 宮本 康範(神奈川県立横浜南陵高等学校PTA会長) 旗島 経子(横浜南陵高等学校校長) 【事務局】 大貫 謙一(教頭)、福島 里花(教諭)、高橋 隆三(教諭)
開会	
<p>○学校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の皆様の立場から学校を支えていただきたい。・授業を共にできる、一般化するようにということに取り組んでいる。・ループリックを指導の中に取り入れるように、教員へ指導している。 <p>○委員の委嘱、自己紹介</p> <p>○授業見学</p> <p>(質問) インクルーシブで入学した生徒の授業の様子について、教科書中心に進んでいるがついていけるのか、また試験は他の生徒と同じなのか?</p> <p>(校長) 国語、数学、理科、英語の授業でインクルーシブ特別募集で入学した生徒のいるクラスにはティームティーチングのサブティーチャーが入っています。普段は机間巡視をして躓いているすべての生徒に声をかけています。インクルーシブ特別募集で入学した生徒に関しては、例えば数学は少し易しい問題を提示するとか、宿題にしてリソースルームで学習支援員と一緒に復習しながら問題に取り組むこともできます。同じ教室でそれぞれの生徒が違う課題に取り組むこともあるということです。その時に効果を発揮するのがICTです。</p> <p>先日の中間試験でもインクルーシブ特別募集の生徒は平均30~40点くらいとれています。</p>	

科目によっては平均点より高い点数を取っている生徒もいます。逆に0点しか取れなかった科目がある生徒もいます。ですが無理はせず、できるようになったことを語れるようになればいいと思っています。そして高校を卒業した後どうしたいのか考え、高校生活を楽しめればいいと思っています。

(質問) ティームティーチングの先生はインクルーシブ特別募集の生徒にずっとついて説明してくれるイメージでしたが、学習支援が必要なそれ以外の生徒も含めて対応することですね。ついていけない生徒がいて違う問題をやった場合は、評価は別にするのですか？

(校長) テストは同じです。百点のうちにごく難しい問題もあれば、ごく易い問題もあります。別問題で勉強していた生徒もその易い問題なら解ける。

(質問) ペアワークやグループワークも始めようと思ってもすぐには出来ない。生徒によってもすぐできる生徒とできない生徒がいます。日頃から行っていけばできるようになるし、卒業後も上級学校や社会に出てもできるようになるのだなと感じました。

(校長) ICT の学習ツールで自分に合ったレベルの問題を解くなどの方法で個別最適な学習ができると思います。インクルーシブ特別募集で入学した生徒には、課題を出したり、補習を受けさせたり様々な工夫をして修得できるようにしています。成績をつける前段階として「個別教育計画」というものを作って、目標を設定しています。その目標が達成できているのなら観点の評価を上げて、落第点ではない評価を付けることとしています。テストの点数だけで評価評定をつけているわけではありません。

(質問) サブティーチャーの先生はインクルーシブ特別募集で入学した生徒がいないクラスにも配置されているのですか？

(校長) 配置されていません。

(質問) ということは、誰がインクルーシブで入学した生徒かは入学者選抜試験を受けて入学した生徒はもともと知らないのですよね。TT がつくことで、このクラスにいるというのがわかるということですか？

(校長) それについては教員もわかりません。みんな平等に接します。けれども職業科目の履修が県より指導されていますので、特別募集の生徒は数学 A という科目の裏でそれを履修しています。それで自然にわかってしまうという可能性はあります。生徒は最初はわからないけれど同じ教室で生活する中でだんだんわかってくる。わかったうえで普通に付き合っています。共生社会はそんな風に築かれるものだと思います。

○令和5年度学校評価報告書(実施結果)について、校長より説明

・令和5年度第3回学校運営協議会でご指摘いただいた学校の危険箇所を整備していく。

ICT 利活用については、機器の利用には工夫を凝らしたものが多くあったが生徒の一人一

台端末については利用方法・頻度に関してまだ課題がある。

- ・本校の教育目標の一つ「思いやりの心・福祉マインド」の醸成については目標を達成できている。挨拶などはよくできているが SNS は課題が多くあり、生徒の生活に対する指導はさらに努力を要する。

- ・学習アプリの一つであるクラッシーをさらに有効活用し、模擬試験なども一層充実させ、学習・キャリア支援の意識をさらに高めていく。

- ・地域貢献では図書の読み聞かせや清掃活動など定着してきているが特定のメンバーに偏っており、広く貢献の思いを持たせていきたい。

- ・校内美化・防災に関して教職員がさらに意識を高く持ち生徒への働きかけを充実させたい。また職場の環境改善・働き方改革にも力を入れていきたい。

以上の項目についてまとめた。

この反省をもとに令和6年度以降の学校目標を構築していく。

○令和6年度～9年度 学校教育計画について

- ・今年度からスクールカウンセラーとの情報共有の時間を確保できるように、従来の会議の時間を変更した。

- ・学校管理、学校安全についても、避難訓練や DIG 研修などを防災委員会中心に実施し、文化祭ではパネル展示を行う予定。

○令和6年度～9年度 スクールポリシーについて

- ・昨年度までであったものを土台として、もう少し見やすく簡潔な表現にした。

- ・生徒が本校に入学してから努力し、その成果をかてに社会を担っていくことを応援するための指針をそこに記載している。

- ・アドミッションポリシーにつきましては、悔いのない青春を実現して欲しいという思いを込めた。

○令和6年度～9年度 グランドデザインについて

- ・学校として「こういう生徒が入ってきてほしい」「本校で確かな教養と豊かな人権感覚を身に付けてほしい」「卒業していくまでにはこういう力を身に付けてほしい」ということを書いた。2段目の「真理と理想を求め」というところは校歌の歌詞からとった。本校は1年生が全員手話で校歌が歌えるように練習するため、生徒が身近に感じられる大切な言葉である。

- ・すべての生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるように、昨年度この運営協議会でご意見をいただき、県に古い校舎の安全化対策について依頼した。結果、今年度より4年計画で老朽対策のための費用がつくことになり、有効活用して教育環境を整えていきたいと考えている。

○学校目標

・生徒の成績をつけるにあたり、最終的な評価を学期・学年末につけるだけではなく、評価をしてここをもっと伸ばしていこう、最終的にはこういう風な目標にたどりつかせようという評価ができるように学校全体で取り組んでいきたい。それが総括的評価ではなく形成的評価の概念である。

・今まで一人一台端末として導入していた機器を chromebook から ipad に変更した。端末を利用し、学習ツールのクラッシーに取り組む習慣を作りたい。

・行事等を通して生徒の主体性を育てていく。

・教育相談を強化し、生徒のニーズにあわせた支援を行う。ケース会議をこまめに開きどうしたらその生徒がよりより生活をしていけるかを話し合い役割分担ができるようにしている。今年度からスクールカウンセラーと担任・管理職が情報共有できるようにスケジュールを組むようにした。

・生徒の進路第一希望を叶えるため学習支援・キャリア支援に力を入れている。

・スクールソーシャルリスポンシビリティの考えを持ち、地域との協働を考えながら互いに支え合うことのできる関係を作っていきたい。この協働の中で避難訓練や DIG 研修の協力などを実施する。私たちも地域に出ていき、お互いにいい関係を保ちたい。文化祭では防災委員が防災に関するパネル展示を行う。文化祭では北朝鮮拉致問題に関するパネル展示も行うので、見に来てください。

・さらに学校として、事故不祥事が起こらないように意識を高くもって学校経営をしていく。

<ご意見・ご質問>

(意見) 体育祭の自由な様子から、お互いを認め、体育祭を楽しんでいるのが伝わってくる。それが素晴らしいと感じる。

(校長) 生徒たちが帰る時に挨拶をしていて、緑もありとてもいい環境です。

(意見) 授業ではみんなで話し合っていた。プロジェクターとプリントを使用し、振り返りまで簡単に出来るような仕組みになっていて、生徒のためになっているというのが印象に残りました。

(校長) これからの一年間、意見を聞かせていただきたい。

きちんと授業を聞いて、目をキラキラさせているのが本当に伝わって来る生徒達が真っすぐ伸びていってくれればと日々思っています。これからも力添えいただきたい。

次回は 11 月を予定しています。

本日は本当にお忙しいところ誠にありがとうございました。

○事務連絡後、解散